



# Proficiency Test JAPAN Meeting



戦略イニシアティブ(研究拠点提案型) H23~H25  
**ALL TSUKUBA NETWORK**  
for Catchment Water Environment Study Focusing on Natural Symbiosis and Sustainability  
オールつくばの連携による持続可能な流域圏水環境研究拠点



特別 H24 年度科学研究費補助金 (新学術領域研究: 研究領域提案型)  
**ISET-R**  
INTERDISCIPLINARY STUDY ON  
ENVIRONMENTAL TRANSFER OF RADIONUCLIDES  
FROM THE FUKUSHIMA DAIICHI NPP ACCIDENT  
福島原発事故により放出された  
放射性核種の環境動態に関する学際的研究



**筑波大学**  
University of Tsukuba



γ線スペクトロメトリーは、近年、装置のスペック改善や、様々な解析ソフトでの容易な操作の実現化により幅広く普及している。しかし、その手軽さゆえに十分な知識や注意がないまま試料測定が行われ、その値が独り歩きしてる場合も少なくない。特に昨今の原発事故の影響により、これまで一般に扱われなかったような環境試料の測定や多機関での相互比較が必要な場合は細心の注意が必要である。

そこで、本年2月、筑波大学-IAEAの協力による、Proficiency Test(技能試験)を行い、日本を代表する21の機関が環境試料を用いたスタンダードの測定値の相互比較を行った。

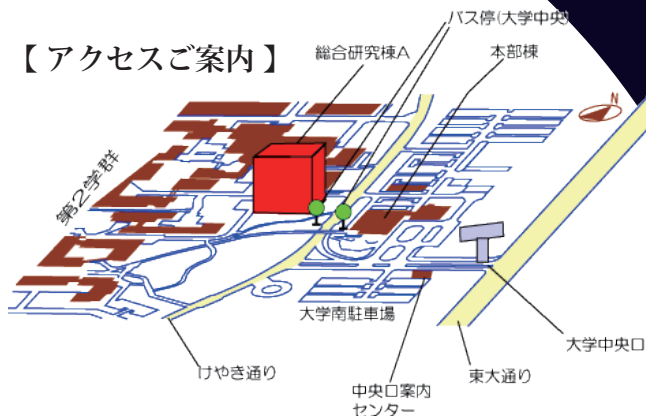
今回、IAEAの担当者および各機関の代表者が筑波大学に集まり、測定値の評価および改善するための技術指導を行う。

## - LECTURER - DR. SANDOR TARJAN

Reference Materials Specialist,  
Terrestrial Environment Laboratory  
Seibersdorf Laboratory  
International Atomic Energy Agency (IAEA)

IAEA 陸域環境部門, サイバースドルフ研究所,  
国際原子力機関 (IAEA)

### 【アクセスご案内】



- 秋葉原駅からつくばエクスプレス  
→つくばエクスプレス(時刻表)、  
→つくば駅出口、バスターミナル  
→つくばセンターから「筑波大学中央」行きバス(10-15分)
- 東京駅から高速バス(高速バス乗り場2番バス停)  
→東京駅八重洲南口から「つくばセンター」行きバス(約65分)  
→「筑波大学」(終点・バス停「筑波大学中央」と同じ位置)下車
- 大学構内案内  
本専攻がある総合研究棟Aは筑波大学の北地区に当たり、第2学群の東側、本部棟の西側に位置します。バスでお越しの方は大学中央バス停で下車後、徒歩0分です。(下記の地図参照)。

Place:  
筑波大学 総合研究棟 A110  
Department of Integrative Environmental Sciences A-110

Date:  
2012年10月11日(木) 14:00-16:00  
Oct.11(Th), 2012 14:00-16:00

会議終了後、懇親会を予定しております。

more info: 筑波大学 生命環境系 教授 恩田裕一 029-853-4226